



学校創立145周年

百年松

阿木名小中学校だより7月号 令和6年7月19日発行

◇ 校訓「かしこく やさしく たくましく」

あ 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎ ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども
うれしい たのしい ありがとう~Keep Smiling~



ひまわり 夕立 せみの声

校長 阿部 康夫

表題の3つの言葉を見て、「あの唄のフレーズだ」とわかる方は、昭和世代だけかもしれませんが、この言葉はシンガーソングライターの吉田拓郎の「夏休み」という曲の最後のフレーズです。吉田拓郎は小2まで鹿児島市の谷山小学校で過ごし、その頃の思い出をモチーフにして、この曲を作ったそうですが、「ひまわり 夕立 せみの声」という3つの言葉だけですが、ゆったりとした夏休みの情景が思い浮かぶのは、私だけではないと思います。

しかし、近年、地球温暖化ではなく「沸騰化」とも言われるようになり、その情景が変わってきているようです。ガラガラした日差しはひまわりも枯れさせてしまいそうです。夕立も近年は「ゲリラ豪雨」とも言われ洪水になるような激しい雨が降ることが多くなりました。せみも暑すぎて昼間は鳴かないことが多くなったそうです。そのような状況にあるためか、熱中症防止や海・川の事故防止のために外遊びをする子どもたちは少なくなり、クーラーの効いた自宅でゲームや動画視聴、SNSでのやり取りに没頭する子どもたちが増え、夏休みの風景もずいぶん様変わりしたようです。

そのような夏休みですが、今も昔も、子どもたちには約40日間のゆっくりと過ごせる時間が与えられることは変わりません。この時間は、ぜひ、学期中にはできない体験をさせてあげたいものです。特に自然体験は私たちが思う以上に子どもたちに社会で生きる大切なことを学ばせてくれます。文科省の調査でも、自然体験が豊富な子供ほど、道徳観・正義感が充実しているというデータが出ています。



学校の裏に来たアカショウビン

「自然体験をさせるのは大変だ」と思われるかもしれませんが、世界自然遺産の奄美大島に住んでいるわけですので、ちょっと外に出てみるだけでも様々な自然に触れ合えます。夕暮れの学校の運動場からも美しい星空も眺められますし、リュウキュウコノハズクの鳴き声も聞こえてきます。

また、自然体験以外でも家のお手伝い(料理や洗濯、掃除など)も立派な職業体験です。お手伝いはキャリア教育につながるだけでなく、できたことをほめて、感謝の言葉を伝えると自己肯定感を高めることにもつながります。

しかしながら、前段に書いた通り危険なことも多い夏休みですので、保護者の皆様には安全に体験できるように十分な配慮をお願いします。同時に保護者の皆様も健康に留意され、子どもたちと一緒に「ひまわり 夕立 せみの声」のような夏休みの思い出をたくさん作ってください。今年は9月2日が2学期のスタートとなります。全校児童生徒が、思い出とともにちょっとたくましく成長した自信に満ちた姿で再会できることを楽しみにしています。

学校の最新情報は本校ホームページ (<http://www.s500.jp/agina/>) で!
右のバーコードを読み込むか、**阿木名小中**で検索してください。



【 PTA バレー3位 】

6月23日(日)に町PTAバレーボール大会が行われました。今年度は阿木名校から2チーム参加し、大会に向けて2週間練習をしてきました。両チームとも全勝で予選を勝ち上がり決勝トーナメント進出。Bチームは準々決勝で敗退。Aチームは準決勝まで進出し3位入賞を果たしました。PTAの皆様には早朝から準備、試合、応援に参加していただきありがとうございました。多くの子どもたちの応援もあり、阿木名校の団結力を強く感じる1日でした。



【 牧さん(卒業生)による講話 】



6月28日(金)中学校ではキャリア教育の一環として本校卒業生の牧大介さん(平成7年卒)に講話をしていただきました。牧さんは海上自衛隊に所属し、世界各地で活動する自衛隊艦艇の給養員として活躍されています。アフリカ大陸のソマリアに派遣された時の海賊船から商船や旅客船を護衛する任務、南極大陸の昭和基地への物資輸送、東日本大震災時の災害派遣など様々な体験談を生徒たちに語ってくださいました。質問の時間では多くの生徒が挙手し質問をしていました。今回の講話を聞いて、働くための心構えや勤労の喜びを知れて自分の進路について考えるいい機会になったと思います。

【 勇気ある行動に感謝 】

6月地域の方が作業中にハブに咬まれたそうです。その際、自分で救急車を要請されたようですが、集落内ではあるが人家のないところでしたので不安を抱いたまま救急車の到着を待っていたとのことでした。その時、情報を聞きつけた本校中学2年生の時田風音さんが集落の入り口から救急車を誘導して現場に連れて来てくれたとのことでした。退院されたその方が、本校を訪れ「誰に言われたわけでもなく機転を利かせた行動に感動しました」「人のために自分で考え判断し動けるその優しさに感謝です。救急車の到着が遅れると危なかったと医者にも言われました」と風音さんの勇気ある行動に感謝するとともに、そんな行動ができる阿木名校の児童生徒が増えてほしいので是非紹介してほしいとのことでした。今後も職員一同自分で考え、判断し、行動できる力が育まれるよう子どもたちと向き合っていきたいと思います。



【 他校とのリモートを使った交流学习 】



小学2年生は生活科の授業で「まち探検」をし、阿木名についてまとめ、6月25日(火)に奄美市立赤木名小学校とそれぞれの「まち探検」のまとめた内容を発表しました。小学4年生は7月17日(水)国語の授業で阿木名小について新聞をつくり、鹿児島市立西田小学校とそれぞれの新聞について感想を伝えたり質問を行ったりしました。同年代の他校の児童との合同学習に子どもたちの目はいつも以上に輝いて見えました。本校では今後もリモートを使って交流を進めていきたいと考えています。



【8月行事】



1・2日(木・金) イングリッシュデー イヤッポ
※今年度は、1日の出校日はありません
10・11日(土・日)瀬戸内町みなと祭り
13日(火)～15日(木)学校閉庁日
21日(水)出校日、PTA 役員会
25日(日)愛校作業
9月1日(日)愛校作業(予備日)
9月2日(月)2学期始業式

【 出前講座 】

7月5日(金)中学校の体育の授業で古仁屋高校の斉藤英樹先生から陸上短距離走の指導を受けました。速く走るためのヒントや運動会に向けて無駄のないバトンパスの仕方を学習しました。生徒たちは真剣に耳を傾け、その後の練習では考えながら真剣に取り組み、繰り返し練習するうちに徐々に無駄のない走りになっていきました。運動会までに学習したその走りをさらに高めていけるといいですね。

